

令和4年度 保護者研修会

令和4年11月14日(月)に南紀はまゆう合同の保護者研修会を実施しました。研修内容は、「学校・家庭で使える手話」です。手話は聴覚障害を持つ方のコミュニケーション手段として知られていますが、手話は文字・音声と並んで、身体全体の動きによって表現される視覚言語と呼ばれています。海外などに行ったとき、自分の言葉が通じなかった経験などはないでしょうか。そんなとき、身体での表現で会話が通じると安心な気持ちを持ったことはありませんか？手話はたくさんの方と通じることのできる視覚言語です。自分の気持ちを言葉で表現しにくい子どもたちにとっても、視覚的にわかりやすい言語であり、また私たちにとっても子どもたちとやりとりをするための言語となっています。今回の研修では、手話を学びながら子どもたちとのコミュニケーションを広げること、誰もが安心して暮らせることを目的として実施しました。



参加された保護者の皆様は、自己紹介を手話で行いました。また、日常で使われる挨拶や、気持ちを表現する手話などを中心に学習会が行われました。